

鶴見, 2006. 5. 25-26, 日本歯科保存学会雑誌, 49 : 23, 2006.

#### 【研究会発表】

- 1) 星野悦郎: 3Mix-MP 治療後の不快事項の予防と対策 第5回 LSTR (3Mix-MP) 療法学会, 東京, 2006. 9. 17.

#### 【特別講義・講演】

- 1) 星野悦郎: LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment. フィリピン歯科医師会年次総会特別講演, マニラ国際会議場, 2006. 5. 5.

### 歯科基礎移植・再生学分野

#### 【論文】

- 1) Kawase T, Okuda K, Yoshie H: A hepatocyte growth factor (HGF)/receptor autocrine loop regulates constitutive self-renewal of human periodontal ligament cells but reduces sensitivity to exogenous HGF. J Periodontol 77:1723-1730, 2006.

#### 【著書】

- 1) 奥田一博, 川瀬知之, 吉江弘正: 多血小板血漿 (platelet rich plasma: PRP). 「細胞増殖因子と再生医療」松本邦夫, 田端泰彦編, メジカルレビュー社, 386-391 頁, 2006.

#### 【研究成果報告書】

- 1) 川瀬知之. 歯周組織再生に特化した簡易型培養人工骨作成キットの開発. 科学技術振興機構, 平成18年度研究成果実用化検討 (FS) 課題.
- 2) 川瀬知之. 骨芽細胞特異的 CGRP 受容体 —細胞分化に影響を受けない非1型受容体発現の証明—. 日本学術振興会 平成16~18年度科学研究費補助金 基盤研究 (C).

#### 【シンポジウム】

- 1) 川瀬知之. 高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発. シンポジウム「新潟大学医歯学総合病院における再生医療」(オーガナイザー: 中田 光) 第626回新潟医学会総会, 新潟, 2006.11.18.

#### 【学会発表】

- 1) 川瀬知之. 細胞外 ATP と ATP<sub>γ</sub>S は異なる作用機序により歯根膜細胞の増殖を抑制する. 第57回日本薬理学会北部会, 弘前, 2006.9.14-15.

2) Okuda K, Yamamiya K, Kawase T, Takizawa F, Mizuno H, Ueda M, Wolff LF, Yoshie H. Regenerating Periodontal Tissue By Grafting Cultured Periosteum with PRP- Hydroxyapatite Complex. The 92nd Annual Meeting of the AAP in collaboration with the JSP, San Diego, 2006.9.16-19.

3) 奥田一博, 山宮かの子, 川瀬知之, 瀧澤史夫, 水野裕和, 上田 実, 吉江 弘正. 培養骨膜シート+多血小板血漿+ハイドロキシアパタイト顆粒による歯周組織再生—症例報告—. 第9回日本組織工学会, 京都, 2006.9.7-8.

4) 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正. 培養人工骨の要件とその作製に求められる技術. 第13回新潟移植再生研究会, 新潟, 2006.6.5.

5) 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正. 歯根膜細胞における肝細胞成長因子 (HGF) の autocrine loop を介した増殖制御機構. 第49回日本歯周病学会春季学術大会, 市川, 2006.4.28-29.

6) 山宮かの子, 奥田一博, 川瀬知之, 瀧澤史夫, 水野裕和, 上田実, 吉江弘正. 培養骨膜シート+ハイドロキシアパタイト顆粒による歯周組織再生—症例報告—. 第49回日本歯周病学会春季学術大会, 市川, 2006.4.28-29.

#### 【研究会発表】

- 1) 川瀬知之. 再生医療の普及は組織工学の技術革新と関連設備・機器のコストダウンによって達成される. 第2回新潟医療関連産学連携交流会, 新潟, 2006.10.23.
- 2) 川瀬知之. 培養人工骨の要件とその作製に求められる技術. 第1回新潟医療関連産学連携交流会, 新潟大学生命科学医療センター, 新潟, 2006.5.15.

#### 【その他】

- 1) 川瀬知之. 高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発 —医療費を抑制しつつ再生医療を普及させるための未来型組織工学関連機器—. 産と学の出会いの場, 新潟大学地域共同研究センターとJST サテライト新潟, 東京, 2006.11.30.
- 2) 川瀬知之, 奥田一博. 骨膜シート培養14例の経験から. ニプロ社における社内セミナー, 草津, 2006.9.6.

### 生体材料学分野

#### 【論文】

- 1) 渡辺孝一, 岡部 徹: 2種の圧力型歯科チタン

鑄造機における鑄造圧. 日本金属学会誌, 70(4): 343-349, 2006.

- 2) Hayashi Y, Kobayashi H, Yamada Y, Miyakawa O, Tsujimoto K: Effects of Heat Treatment on Fatigue Strength of Occlusal Rests Cast with Ag-Pd-Cu-Au Alloy. Prosthodont Res Pract, 5: 195-202, 2006.
- 3) Otawara Y, Endo MM, Ogasawara K, Kubo Y, Ogawa A, Watanabe K: Reliability of cobalt-chromium alloy aneurysm clips after long-term implantations in patients with cerebral aneurysms. J Neurosurg, 105: 713-716, 2006.
- 4) 金谷 貢, 熊倉喜久夫, 野村章子: 0.7mm φ以下のワイヤーを用いたスーパバブル型隣接面鉤の維持力評価-上顎中切歯を対象とした可撤性部分床義歯の場合-. 日歯技工誌, 27: 83-89, 2006.
- 5) Hossain A, Okawa S, Miyakawa O: Surface texture and composition of titanium brushed with toothpaste slurries of different pHs. Dent Mater, 23: 186-192, 2007.

#### 【商業誌】

- 1) 金谷 貢: 「平成 17 年度新潟県歯科技工士会新潟支部学術研修会 第 1 回ワークショップ」に参画して-参加者同士による討論を通じて, 多くの知識を共有し, 協力して成果を生み出す-. 歯科技工, 34: 646-648 頁, 2006.

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) 渡辺孝一: 体内埋入型材料の新たな生体親和性評価法の取り組み. 平成 18 年度新潟大学ジョイント研究シーズプレゼンテーション, 新潟, 2006. 9.22. 要旨集, 63-64, 2006.
- 2) 渡辺孝一: X線光電子分光法 (XPS) によるラット骨内から抽出した Ti 表面の分析. 新潟大学ベンチャービジネスラボラトリー「平成 18 年度第 1 回研究成果発表会」, 新潟, 2006.10.11. プログラム & 資料集, 4, 2006.
- 3) 渡辺孝一: 生体組織切片の X線マイクロアナライザー分析による医療分野への応用. 新潟大学研究シーズ発表会, 東京, 2006.10.30. 資料集: 11-14, 2006.
- 4) 金谷 貢: 8020 運動が推進されているが, 高齢者ならびに要介護高齢者にかかわる欠損補綴は将来, 減少していくのであろうか?. 第 31 回明倫短期大学プレゼンテーション, 新潟, 2006.11.13. 明倫歯科保健技工学雑誌, 10: 89, 2007.

#### 【学会発表】

- 1) Okawa S, Nakano S, Kanatani M, Watanabe K, Miyakawa O: Calcium Phosphate Nanoparticles Deposited by Anodic Oxidation of Titanium. 84th Gen Sess of the IADR, Brisbane(Australia), 2006.6.30. J Dent Res, 85(Spec Iss B): CD-ROM, 2006.
- 2) Watanabe K, Hashimoto A, Okawa S, Kanatani M, Miyakawa O, Endou MM: Element Analysis of Titanium Surface from Rat Bone. 84th Gen Sess of the IADR, Brisbane(Australia), 2006.7.1. J Dent Res, 85(Spec Iss B): CD-ROM, 2006.
- 3) Sharmin F, Stegaroiu R, Okada N, Kitamura E, Nomura S, Miyakawa O: Failure resistance and failure mode after cyclic loading of teeth restored with two post and core systems. 平成 18 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学誌, 36: 297, 2006.
- 4) Soejima H, Hayashi H, Watanabe K, Kobayashi M, Fukuda H, Kobayashi T, Furuya K, Takaoka A, Mori H: Improvement in X-ray Microanalysis of Trace Metalliferous Elements in Human Tissue and Cell. 16th International Microscopy Congress, Sapporo, 2006. 9. 5. Proceedings : 115.
- 5) Watanabe K, Kobayashi M, Moriyama H, Takada T, Suzuki E: The Frontiers of Element Detection by Electron Probe Microanalysis, - New Diagnosis Data of Pneumoconiosis by Section Analysis of Biopsy -. 16th International Microscopy Congress, Sapporo, 2006. 9. 5. Proceedings : 122.
- 6) 保莉 卓, 齋藤紀子, 染谷千昭, 金谷 貢, 堀田憲康: HIP 焼結による透明酸化イットリウムセラミックスの作製. 平成 18 年度日本セラミックス協会東北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.12, 講演要旨集: 33, 2006.
- 7) 宮元貴弘, 大栗雅人, 尾崎 歩, 金谷 貢, 堀田憲康: HIP 焼結による透光性酸化マグネシウムセラミックスの作製. 平成 18 年度日本セラミックス協会東北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.12, 講演要旨集: 34, 2006.
- 8) 大栗雅人, 染谷千昭, 辰巳聖和, 金谷 貢, 堀田憲康:  $Y_2O_3$ -CaO- $Al_2O_3$  系助剤を用いた AlN 粉末の低温焼結. 平成 18 年度日本セラミックス協会東北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.12, 講演要旨集: 35, 2006.
- 9) 染谷千昭, 大栗雅人, 瀬山博之, 金谷 貢, 堀田憲康: 窒素-ヘキサン混合ガスによる Al 粉末の直接窒化反応. 平成 18 年度日本セラミックス協会東北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.12, 講演要旨集: 36, 2006.

- 道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.12, 講演要旨集: 36, 2006.
- 10) 齋藤紀子, 瀬山博之, 金谷 貢, 堀田憲康, 戸田健司: 酸化タンタル粉末の流動層還元窒化反応. 平成18年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.13, 講演要旨集: 82, 2006.
- 11) 瀬山博之, 尾崎 歩, 金谷 貢, 堀田憲康, 戸田健司: 酸化ニオブ粉末の流動層反応による非酸化物セラミック粉末の合成. 平成18年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.13, 講演要旨集: 83, 2006.
- 12) 辰巳聖和, 尾崎 歩, 齋藤紀子, 金谷 貢, 堀田憲康, 戸田健司: 酸化チタン粉末の浮上式還元窒化法による窒化チタン粉末の合成. 平成18年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.13, 講演要旨集: 84, 2006.
- 13) 尾崎 歩, 保莉 卓, 宮元貴弘, 金谷 貢, 堀田憲康, 戸田健司: 窒素-アンモニア-ヘキサン混合ガスによる酸化チタン粉末の流動層反応. 平成18年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 新潟, 2006.10.13, 講演要旨集: 85, 2006.
- 14) 林 頼雄, 小林 博, 宮川 修, 山田好秋, 辻本和雄: 熱処理による金銀パラジウム合金鑄造咬合面レストの疲労強度の改善. 平成18年度日本補綴歯科学会関東支部総会ならびに学術大会, 新潟, 2006.10.21, プログラム・抄録集: 1, 2006.
- 15) 渡辺孝一, 野村修一, 大川成剛, 金谷 貢, 中野周二, 小林正義, 宮川 修: 歯科インプラントの表面特性について(第四報)-ラット骨内から摘出された溝加工チタン試料の表面分析-. 第48回日本歯科理工学会学術講演会, 名古屋, 2006.10.28, 歯材器, 25: 319, 2006.
- 16) 大川成剛, 中野周二, 金谷 貢, 渡辺孝一, 宮川修: CaとPを含む溶液中でチタンの陽極酸化により析出したナノ粒子のXPS分析. 第48回日本歯科理工学会学術講演会, 名古屋, 2006.10.29, 歯材器, 25: 428, 2006.
- 17) 金谷 貢, 熊倉喜久夫, 野村章子, 中野周二, 大川成剛, 渡辺孝一, 宮川 修: 0.7mmφ以下のCo-Cr合金線を使用したスーパバブル型隣接面鈎の維持力-上顎中切歯用可撤性部分床義歯の場合-. 第48回日本歯科理工学会学術講演会, 名古屋, 2006.10.29, 歯材器, 25: 453, 2006.
- 18) 林 頼雄, 小林 博, 宮川 修, 山田好秋, 辻本和雄: 金銀パラジウム合金鑄造咬合面レストの表面処理が疲労強度に与える影響. 平成18年度日本補綴歯科学会関東支部総会・第10回学術大会, さいたま, 2006. 2.25.
- 19) Okumura N, Stegaroiu R, Kitamura E, Kurokawa K, Nomura S, Miyakawa O:(2192)Maxillary cortical bone thickness and stress around a posterior implant. 85th Gen Sess of IADR, New Orleans, 3. 23, 2007.
- 20) Stegaroiu R, Ejiri S, Sato T, Okumura N, Nomura S, Miyakawa O:(2195)Generation of 3D-finite element model with screw-implant by micro-CT techniques. 85th Gen Sess of IADR, New Orleans, 3. 23, 2007.

#### 【研究会発表】

- 1) 金谷 貢: コ・デンタルスタッフの卒後研修におけるワークショップの有効性-歯科技工士の研修でのアンケート調査から-. 平成18年度日本歯科理工学会中部支部研修会, 湯沢(新潟), 2006. 8.18.
- 2) 渡辺孝一, 小林正義: EPMA組織切片分析の試料作製法. 第24回マイクロアナリシス研究懇談会, 東京, 2006.11.10. 講演要旨集, 10. 1~10. 7, 2006.

#### 【その他】

- 1) 金谷 貢: 8020運動が推進されているが, 高齢者ならびに要介護高齢者にかかわる欠損補綴は将来, 減少していくのであろうか. 明倫歯科保健技工学雑誌, 10: 56-58, 2007.

### 分化再生制御学分野

#### 【学会発表】

- 1) 里方一郎: ホメオボックス遺伝子 *Mxs2* と歯原性角化嚢胞(指名研究講演). 第51回日本口腔外科学会総会, 北九州, 2006.10.12, 日本口腔外科学会雑誌, 52: 12-13, 2006.
- 2) 土谷修一, 伊東達雄, 磯辺賢論, 水野信哉, 中村敏一, 森岡哲夫, 山本格, 里方一郎, 内山聖: Alport症候群モデルマウスにおいてHepatocyte growth factorの低下が, 腎障害の増悪因子となる. 第41回日本小児腎臓病学会学術集会, 名古屋, 2006. 6.23, 日本小児腎臓病学会雑誌, 19: 59, 2006.
- 3) パールカン過剰発現系トランスジェニックマウスにおける脱毛現象の解析. 依田浩子, 里方一郎, 朔敬: Journal of Oral Biosciences 48: 153, 2006.

### 予防歯科学分野

#### 【論文】

- 1) Ogawa H, Yoshihara A, Amarasena N, Hiroto T, Miyazaki H: Association between serum albumin and periodontal disease in community-